

本年 10 月 21 日～22 日にジュネーブにて開催される国際援助に関する展示会「AidEx2025」に、今年も厚生労働省として出展します。また、現地では国際機関の調達担当者等を対象に、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部との共催セミナーを開催する予定です。これに伴い、本事業で作成・発行しております「調達有望製品カタログ」への新規掲載および更新に係る公募を実施いたします。

ご応募を検討される企業は下記お目通しお願い申し上げます。

調達有望製品カタログ」（本事業のウェブサイト（国際公共調達情報プラットフォーム）に掲載中）
https://ippip.mhlw.go.jp/files/Product%20Catalogue%20for%20Solutions%20to%20Global%20Health%20Challenges_Aug%202025.pdf

■「調達有望製品カタログ」公募の概要

厚生労働省医療国際展開推進室では、グローバルヘルスに貢献する日本の医薬品・医療機器を国際公共調達への参入が有望な製品として「調達有望製品カタログ」に取りまとめ、下記の場面等で活用することで、国際調達における日本製品の更なる充実を図ることをねらいとしております。

本カタログは、国際機関や低中所得国向けに配布を続けており、これまで本カタログを起点として問い合わせが複数の国際機関から寄せられるなど、案件形成の一助として位置づいております。

昨年度と同様、国際展示会（AidEx2026※）での国際機関等への本カタログの提供に加えて、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部との共催で、在ジュネーブの国際機関の調達担当者や低中所得国の大使館関係者等向けに本事業及び日本の医薬品・医療機器の紹介をセミナー形式で実施することを予定しており、その場においても本カタログの配布を予定しております。

※AidEx は、国際的な人道援助団体が中立的な場で民間部門と連携し、イノベーションを推進し、増え続ける緊急援助および開発プログラムのニーズを支援することを目的とした国際的なイベントです。AidEx は国際援助セクターが学び、ネットワークを作り、ビジネスを行うための最も重要なプラットフォームとして広く認識されています。（<https://aid-expo.com/>）

また、更新版のカタログは、本事業のウェブサイト（国際公共調達情報プラットフォーム）において引き続き掲載するとともに、改めて国際機関現地事務所や日本政府大使館等の関係者にウェブサイト上のカタログを広く周知することで、低中所得国における日本の医薬品・医療機器の一層の活用を呼び掛けることを予定しております。

■想定される活用方法：

- ・国際機関・在外公館への配布、国際展示会（AidEx2026 等）での配布
- ・国際機関による国際公共調達案件形成や ODA 案件形成時の参考資料
- ・国際機関向けセミナー（厚労省・ジュネーブ代表部共催セミナー等）での配布
- ・本事業のウェブサイト（国際公共調達情報プラットフォーム）での掲載

昨年度と同様、WHO 推奨機器要覧（Compendium）を参考に、各医薬品・医療機器 A4・2 枚で、英語及び日本語で作成することを予定しております。

【ご参考】WHO 推奨機器要覧（Compendium 2024）：

<https://www.who.int/publications/i/item/9789240095212>

応募要件は、次の 2 点です。

■新規応募要件：

- ①薬事の条件：WHO 事前認証/推奨を取得あるいは厳格な規制当局（SRA：Stringent Regulatory Authority）の承認を取得済みであること（ただし、医療機器等において、展開国での薬事的な認証が不要な製品・ソリューションについては、本要件は該当しません）
- ②低中所得国での導入実績があること（国際機関による公共調達経由、ODA 案件経由、通常のビジネス経由を問いません）

なお、上記 2 点に該当する製品である限り、同一社から複数の製品について応募を頂いてもかまいません。

掲載文については、添付の「記入フォーマット」に基づき、応募企業に記入頂きます。添付フォーマットの記入情報をもとに、厚生労働省が掲載製品の選定を実施します。

ただし、新規応募時には、応募企業のご負担軽減を鑑みて、添付フォーマットの下記の情報（①④⑥⑩⑪⑫）のみご記入頂ければ結構です。

■新規応募時に必要な情報：

- ①製品名
- ④カテゴリー（医療機器、医薬品、eHealth 等）
- ⑥対象とする健康課題と製品概要
- ⑩薬事承認状況（ただし、薬事承認が必要な製品ではない場合は不要）
- ⑪国際公共調達実績
- ⑫低中所得国での導入事例（この時点では写真不要）

上記の情報をもとに厚生労働省が選定を行い、掲載が決定した製品については、残りの情報をご記入頂くことを想定しております。

掲載する製品の選定が決まった後、新規応募企業には、該当する製品の残りの情報をご記入頂きます。その際、必要に応じて選定の際の厚生労働省からの指摘の反映をお願いさせていただきます。カタログとして公開が難しい情報は、項目によっては、企業の問い合わせ先に照会して情報提供をいただく等の対応も検討可能ですので、選定後ご相談いただけますと幸いです。ただし、カタログに掲載する情報が過度に少ない場合は、掲載を見送らせていただくことがありますのでご了承ください。

その後、カタログのデザインに収まるための文字数等の観点から、事務局が文案の調整及び英訳を実施致しますので、こちらも予めなにとぞご了承ください。

そして、調整後の文案を応募企業にご確認頂き、最終調整の後、本年 10 月初旬での完成を目指します。

以降、カタログの活用先として、10 月 21 日、22 日に開催予定の国際展示会「AidEx2025」及び、同展示会前後で開催予定の厚労省と在ジュネーブ国際機関日本政府代表部との国際機関向け共催セミナーにおいて国際機関関係者等に配布するほか、随時在外公館や国際機関に提供予定です。

■現在のカatalogの掲載企業による情報更新：

現在のカatalogに医薬品・医療機器を掲載した企業のご担当におかれては、ご担当部分の「調達有望製品カタログ」（英語）をもとに、更新内容をお知らせ頂くこととなります。

色分けや履歴などで更新部分が事務局に分かるように、更新部分について元の Word ファイルを直接上書きなどしていただき、公募〆切の 8 月 21 日までに事務局まで該当する貴社医薬品・医療機器のページをそのまま Word 形式でお送りください。

ご連絡がない場合、昨年度と同様の内容での掲載を予定しております。

なお、追加で貴社医薬品・医療機器の掲載を希望される場合は、新規応募と同様のスケジュール及びフォーマットを活用の上、ご応募お願い申し上げます。

■今後のスケジュール（予定）：

本公募案内からカタログの完成まで、下記のスケジュールを想定しております。

8月 5日～8月21日：掲載製品の新規応募及び情報更新の募集

8月24日～8月28日：厚労省審査による掲載製品の選定

8月31日～9月11日：新規応募企業による掲載製品に関する残りの情報の記入

9月14日～9月25日：事務局による文案（英語）の翻訳及びレイアウト等を加味した文案の調整

9月28日～10月2日：応募企業による文案の最終チェック

10月5日～：取りまとめ、全体調整→公開、配布（10月22日から23日に開催予定のAidEx2025
において配布する）

新規応募及び情報更新される企業は、添付の記入フォーマット及び記入例をもとに、あるいは更新後のWordファイルを「8月21日（金）」までに事務局（ipp@nri.co.jp）へ掲載希望の医薬品・医療機器の情報をお送りください。

皆さまのご応募及び情報更新をお待ちしております。

お問い合わせ先：株式会社野村総合研究所内 国際公共調達情報プラットフォーム事務局

Email: ipp@nri.co.jp （窓口担当：小池・安井・森・林）